

・第1回(平成14年度)

開催場所 開催期日 学会大会長 大会実行委員長	東京学芸大学 2003/3/28 関岡康雄(仙台大学) 有吉正博(東京学芸大学)
テーマ	陸上競技の指導と科学
基調講演	陸上競技研究法の確立に向けて 関岡康雄(仙台大学)

シンポジウム テーマ	<p>短距離走</p> <p>加藤謙一(宇都宮大学)</p> <p>進化し続けるスプリントコンセプト</p> <p>高野進(東海大学)</p> <p>最高疾走速度を高める動作</p> <p>伊藤章(大阪体育大学)</p> <p>中・長距離走</p> <p>石井好二郎(北海道大学)</p> <p>コニカ陸上競技部で実施している 「日常生活・基礎トレーニングの重要性について」</p> <p>酒井勝充(コニカ)</p> <p>長距離マラソンのパフォーマンスに関連する生理学的モデル</p> <p>伊藤静夫(日本体育協会)</p> <p>跳躍</p> <p>伊藤信之(横浜国立大学)</p> <p>今井美希日本記録樹立までの軌跡と2mジャンパーへの課題</p> <p>阪本孝男(中京女子大学)</p> <p>最近の跳躍に関するバイオメカニクス的研究から</p> <p>阿江通良(筑波大学)</p> <p>投てき</p> <p>尾縣貢(筑波大学)</p> <p>砲丸投げコーチングにおける科学的知見の有用性と問題性</p> <p>小山裕三(日本大学)</p> <p>日本人砲丸投選手にとっての20m(男子)、 18m(女子)スローは不可能な記録か ～バイオメカニクスから砲丸投の記録向上を検討する～</p> <p>植屋清見(山梨大学)</p>
------------	--